

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第20回史跡高松城跡整備会議整備部会
開 催 日 時	令和5年3月3日(金) 13時30分～16時00分
開 催 場 所	玉藻公園 披雲閣 松の間ほか
議 題	(1) 史跡高松城跡内のガイダンス・サイン等の整備 (2) 令和4年度事業の進捗状況
公 開 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	尼崎委員、谷委員、吉田委員、胡委員、乗岡委員
傍 聴 者	3人
担当課及び連絡先	文化財課(埋蔵文化財センター) 823-2714

協議経過及び協議結果

会議を開会し、次の議題について報告し、下記の結果となった。

議題（１）史跡高松城跡内のガイダンス・サイン等の整備

◎ガイダンスについて

（事務局）保存活用計画に定めた各種課題認識及び整備の方針に基づき、陳列館のガイダンス機能を向上することを目指す。令和５年度に計画を策定する予定である。

（委員）既存施設を利用してガイダンス機能を強化する方針に賛同。県立ミュージアム・高松市歴史資料館には高松城に特化した展示はなされていないので、高松城に関する基礎的な情報を知ることのできる拠点的な施設であると位置づけて内容を検討する方がよいのでは。

（委員）対象年齢や難易度など、コンセプトを整理して提示することが必要。

（委員）コンサルタントの活用や会議委員の協力など、事務局の独力で進めると大変だと思うので、予算・人員双方の体制整備に留意すること。

◎サインについて

（事務局）保存活用計画に基づき、次年度基本デザイン案の作成を目指している。

（委員）見せたい対象とそれに対応するサインの位置関係は注意が必要。現況の看板は位置が高かったり、対象物と距離が離れている等課題もある。

（委員）解説のサインのみならず、誘導のサインも充実が必要。誘導は園内に限らず、

周辺や駅・空港等交通拠点からの動線や、インターネット上での情報検索の在り方など、広い視野での動線整備が必要。

（委員）既存サインを再利用する形では制限が大きいため、基本的な形態などから見直してはどうか。

（委員）共通デザインをデザイナーに委託するなどして整備している事例は多い。そのために必要な予算措置についても十分に事前から準備する必要がある。

議題（２）令和４年度事業の進捗状況

（事務局）整備・活用・調査事業のそれぞれの進捗を報告した。のち、現地視察を行い、現況の進捗を確認した。特に質疑はなし。